

年金だより 知っておトクな 国民年金の任意加入と付加年金

市民課
国民年金係
☎973-5498

国民年金の加入期間は原則 20 歳から 60 歳までとなっています。
つまり「40 年間=480 ヶ月(上限)」です。この期間のうち、これまでは「25 年間(300 ヶ月)以上の納付(免除等の手続き含む)がなければ「受給資格」がありませんでした。
しかし平成 29 年 8 月に制度が変わり、「10 年間(120 ヶ月)」以上から受給可能となっています。

平成 29 年 8 月法改正(再掲)

任意加入制度とは?

任意加入制度とは、この上限の 480 ヶ月に満たない方のための制度で、60 歳から 65 歳まで継続して国民年金の加入が可能となり満額に近づけることができます。
(60 歳前の方は、ご自分の加入期間や納付期間を、一度ご確認ください。)

Q1. 「60 歳になります。今後受け取るときに、もう少し受給額を増やしたいのですが…」
A1. 原則、年金の受給は 65 歳からとなります。この制度を利用して 60 歳から継続して国民年金保険料を納めていけば、今後受給するときに受給額を増やすことができます。
(ただし上限の 480 ヶ月を越えての加入はできません)

Q2. 「60 歳になります。受給資格期間が足りません。年金はもらえないのですか?」
A2. そんな方のためにもこの【任意加入】制度は活用できます。60 歳から 65 歳までは最大で「60 ヶ月」ありますので、受給可能となる資格期間の「120 ヶ月」を満たせる方は、ぜひともオススメです。

- 〈ご注意〉
- ・加入は 60 歳以上 65 歳未満の人となります。
 - ・老齢基礎年金を受給されている方は、お申込みできません。
 - ・上限の 480 ヶ月の納付未済の方が対象です。
 - ・納付は「口座振替」になります。
 - ・任意加入の場合、「免除制度」はご利用できません。
 - ・厚生年金に加入している方は、加入できません。



付加年金制度とは?

付加年金制度も、受け取る年金額を増やせる制度です。
毎月の国民年金保険料に、**400 円(毎月)**多く納めることで、受給するときに、上乗せして年金がもらえます。
(付加保険料=400 円/月)

例) 付加保険料を「60 ヶ月」納めた場合…
納付した「付加保険料」=400 円×60 ヶ月分=24,000 円(総額)
上乗せされる受給額 =200 円×60 ヶ月分=12,000 円(年額)
この場合、このように多く納めたのは総額で 24,000 円ですが、受け取るときには、これから毎年 12,000 円を多く受け取れることになるわけです。



- 〈ご注意〉
- ・申し込みされた月から加入となります。
 - ・付加年金のみの加入は出来ません。通常の保険料の納付が加入の条件です。
 - ・「国民年金基金」に加入されている方は加入できません。

お手続き
場 所：市役所窓口(市民課国民年金係)、コザ年金事務所窓口(※こちらは「予約」をおすすめします。)
持 参：①基礎年金番号またはマイナンバー(個人番号)がわかるもの
②運転免許証などの本人確認ができる書類
③代理人の場合は、「委任状」が必要。その際に電話で予めお問合せ願います。



3/22 コロナを乗り越えるために 明治安田生命保険相互会社より寄付



明治安田生命相互保険相互会社様より、市の新型コロナウイルス感染症対策へ15万円のご寄付を頂きました。この寄付は地方自治体を応援する同社の「地元の元気プロジェクト」の一環。川腰藤雄沖繩支社長(中央左)は「地域社会が一日も早くこのコロナの苦難を乗り越え、元気を取り戻せるようご活用して頂きたい」と述べました。

4/9 市内農地の最適化に取り組む 農業委員・農地利用最適化推進委員決まる



新しい農業委員14名と農地利用最適化推進委員16名が決定し、委嘱状交付式が行われました。
農業委員は、おもに農地の権利移動や転用についての審議を行い、農地利用最適化推進委員は農地と農業者を結び付ける活動や荒れた農地を無くすための活動を行います。任期はともに令和6年3月31日まで。

受賞おめでとうございます

次の団体および個人が令和2年度うるま市社会教育優良団体表彰および社会教育功労者表彰を受賞いたしました。

社会教育優良団体表彰受賞団体

- ・城北区老人クラブ
- ・うるま市文化協会しまくとぅば部
- ・川崎クラブ

社会教育功労者表彰受賞者

- ・龍美恵美子(貝志川婦人会)
- ・小濱君子(上江洲女性会)
- ・兼島兼良(古典音楽三線)
- ・金城睦昭(幸太鼓の会)
- ・國場正剛(少年野球指導)
- ・山田義一(スポーツレクリエーション普及活動)
- ・貝志堅勝信(剣道指導)

3/22 育英会とコロナ対策へ役立てて 安謝鋳物商事より寄付



(株)安謝鋳物商事様より、うるま市育英会と市の新型コロナウイルス感染症対策へご寄付を頂きました。今回のご寄付は、仲宗根重幸代表取締役社長(前列中央左)の奨学金制度と新型コロナウイルス対策各事業に役立ててほしいとの思いから寄せられたもので、それぞれ500万円、合計1,000万円のご寄付を頂きました。

3/26 ウルマーの絵本でうるま市を知ろう 商工会青年部 保育園へ絵本を寄贈



うるま市商工会青年部は、ご当地ヒーローウルマーが主人公の絵本「伝統神ウルマー誕生」を制作し、市教育委員会へ寄贈しました。この絵本は、ウルマーと共にクイズ形式でうるま市の伝統文化や特産品を楽しく学べる内容になっており、教育委員会を通して、市内の保育園に配布される予定となっています。

3/16 コロナ禍で頑張った児童へエール 丸石建設から赤道小学校へマスク寄贈



赤道小学校で教育環境整備工事を行う(株)丸石建設から、令和3年3月で赤道小学校を卒業する児童生徒らに一人1箱の不織布マスクが贈呈されました。
丸石建設の担当者は工事で赤道小に関わる中、コロナ禍で大変な学校生活を送った児童らの力になりたいとの思いから、今回のマスク寄贈に至ったとのこと。